

プログラム名 (40字以内)	中国・海南島の自然人文歴史を知る		
団体名/所属	大学院農学生命科学研究科附属演習林大学教育委員会		
活動区分	国際交流体験活動、 フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	5人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	学部学生、大学院学生を問わず、海外の熱帯林や自然保護活動に興味がある学生(文系理系を問わない)の参加を期待している。		
活動期間	2026/8/22(土)～8/28(金)	主な活動予定場所	中国海南島内の熱帯林、海岸林などを中心に見学する
プログラム実施の目的	生物多様性に富み、世界的にも貴重な熱帯の自然が残る海南島において、熱帯林や海岸マングローブ林、火山遺跡などを見学し、実際に行われている活動に触れることで、自然保護の意義とその必要性を体感しよう。		
具体的な内容(800字程度)	<p>中国で最も新しい省である海南省は、海南島を中心に多くの島々から構成される、熱帯の自然に恵まれた地域である。本活動では、海南島内に広がる熱帯林、マングローブ林、ゴムノキ人工林を主な対象とし、あわせて熱帯動植物園、火山地質や塩田遺跡などを見学することを通して、貴重な自然を守ることの意義と必要性を体感してもらうことを目的とする。海南島は、熱帯林を中心とした陸域と、その周囲に広がる海域の双方に多様な動植物が生育しており、生物多様性が極めて高いだけでなく、固有性の高い種も多く、世界的にも貴重な自然が残されている地域である。この自然を保全するため、島内には数多くの自然公園が設置されているが、経済的・社会的なさまざまな要因により、その保全活動は必ずしも容易ではない。今回の活動では、以下に示す史跡、自然公園、地質公園などの見学を予定している。各地での説明や体験を通じて、参加者一人ひとりが自然保護の重要性と海南島の人文歴史について、自らの感性で感じ取り、考える機会としたい。</p> <p>(日程:現時点での計画であり、訪問地は一部あるいは大幅に変更になる可能性がある) 8月22日(土)に海南島入り、8月28日(金)に海南島出発の現地集合現地解散(空港まで送迎予定) 第1日 羽田→広州→海口(海南省)→海南大学儋州キャンパスへ移動 第2日 海南大学儋州キャンパスにて開始式 海南熱帯動植物園にて熱帯林の樹木の識別方法を学習 ゴムの木人工林についての学習 第3日 海南大学儋州キャンパスにて見学 儋州市古塩田・海岸マングローブ樹林の見学 第4日 海尾湿地公園にて湿地植物と鳥類の観察 昌江海岸人工林・植樹記念館等の見学 第5日 昌江から海口市内まで移動 海口火山地質公園の見学 第6日 海南熱帯野生動物園の見学 海南大学海甸キャンパスにて見学・終了式 海口市内古町への散策(夕方) 第7日 海口→広州→羽田</p> <p>なお本活動は、すべての行程が大学院農学生命科学研究科と学術交流協定を結んでいる海南大学熱帯農林学院のスタッフのサポートを受けて実施される。</p>		
【総額】参加するための費用	航空機代を除いて107,500円程度の予定		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	海南島内の宿泊費(2人/室)は上記の総額に含まれる(個室希望者は約38,000円追加)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	海南島内の貸切バス等交通費は上記の総額に含まれる		
【内訳】参加するための費用(その他)	食事代(3食×5日間)・各種入園チケット等は上記の総額に含まれる		
奨励金額(予定)	40,000円		
備考	海南大学熱帯農林学院: https://staf.hainanu.edu.cn/index.htm 大学院農学生命科学研究科附属演習林: https://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	なし		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		